

## 令和 7 年度 毛呂山町高齢者実態調査について

## 1. 調査の目的

第 10 期毛呂山町高齢者総合計画（高齢者福祉計画・介護保険事業計画）の策定にあたり、現状の把握及び重点的に取り組むべき課題の抽出等を行い、町が取り組む課題や高齢者福祉施策の方向性、サービス目標量等を定めるための基礎資料として活用することを目的にしています。

一般高齢者（要支援認定者・総合事業対象者を含む）を対象とした「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」、在宅で生活する要介護認定者を対象とした「在宅介護実態調査」の 2 つの区分に分けて調査を実施します。

なお、これらの調査とは別に、町内の介護保険サービス提供事業所を対象とした調査（ヒアリング）の実施を予定しています。

## 2. 第 10 期毛呂山町高齢者総合計画策定に向けたスケジュール

| 年度 | 令和 7 年度   |  |   |  | 令和 8 年度   |
|----|---|--|---|--|---|
| 月  | 7 - 8   | 9 - 10   | 11-12   | 1 - 3  |   |
| 予定 | <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 10px; padding: 5px;">           【国実施】<br/>第 10 期計<br/>画策定に向<br/>けた説明会         </div> ↑<br>調査に関す<br>る設問案の<br>提示（※1） | <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;">           ・調査票の<br/>作成<br/>・調査対象<br/>の者抽出         </div> | <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;">           【調査実施】         </div> | <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;">           調査結果報<br/>告書の作成         </div> | <br>第 10 期毛呂山町<br>高齢者総合の策定 |

（※1）令和 7 年 3 月に行われた全国介護保険、高齢者福祉担当課長会議において、第 10 期の策定に向けた介護予防・日常生活圏域ニーズ調査について、調査項目、調査方法は第 9 期（令和 4 年度実施）と大きく変更する予定はないが、「収入のある仕事」に関する設問は介護予防に資する取組において重要な項目であるため、形式を変更する予定であると示されています。

### 3. 第9期計画策定時に実施した実態調査における主な質問事項

#### (1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（全84問）

##### ○あなたのご家族や生活状況について

- ・ 家族構成（ひとり暮らし、夫婦2人暮らしなど）
- ・ 介護・介助が必要か（介護・介助が必要となった主な原因など）

##### ○からだを動かすことについて

- ・ 階段を昇る、椅子からの立ち上がり、15分位続けて歩行できるか、歩く速度
- ・ 過去1年間の転んだ経験、転倒に対する不安
- ・ 外出について（頻度、前年と比較して減っているか、主な移動手段など）
- ・ 有償ボランティアによる移送サービスの利用の有無

##### ○食べることについて

- ・ 身長、体重
- ・ 固いものの食べにくさ、お茶や汁物等でむせることの有無
- ・ 歯磨きの実施、噛み合わせ、歯の本数、入れ歯の利用の有無
- ・ 誰かと食事をとる機会に頻度

##### ○毎日の生活について

- ・ 物忘れ（周囲から言われることがあるか、今日が何月何日かわかるか）
- ・ バス、電車、自家用車を使った外出の有無
- ・ 食品・日用品の買い物、食事の用意、請求書の支払い、預貯金の出し入れ
- ・ 趣味や生きがいはあるか、日常生活で困ると感じる事
- ・ パソコンやスマートフォンの所有、使用の状況

##### ○地域での活動について

- ・ ボランティア、趣味の会、町内会、収入のある仕事等への参加頻度
- ・ ボランティア活動の頻度、ゆずっこ元気体操への参加意向

##### ○たすけあいについて

- ・ 愚痴を言い合える関係、病気の時に看病や世話をしてくれる人の有無
- ・ 友人・知人と会う頻度、ここ1か月間で会った人数

##### ○健康について

- ・ 現在の健康状態、幸福度、飲酒・喫煙の有無
- ・ ここ2週間での調査対象者の気持ちの状況
- ・ 治療中、後遺症のある病気の有無

##### ○人生最期の時（終活）について

- ・ 人生最期の時について家族や親しい人と話をしたり、何か準備をしていること
- ・ 最期の時をどこで迎えたいか、自分が望む終末期の医療

○認知症に関する施策について

- ・自分自身を含め、家族に認知症の症状のある人がいるか
- ・認知症に関する相談窓口を知っているか
- ・自分自身が認知症になったときに困ること、不安なこと
- ・成年後見制度に関する理解度
- ・町が今後特に優先的に取り組むべきと思う認知症施策

○将来のこと、町の施策について

- ・介護や介助が必要となったときに暮らす場所の希望
- ・町が今後特に優先的に取り組むべきと思う高齢者施策

(2) 在宅介護実態調査 (全31問)

○調査対象者本人について

- ・施設への入所、入居の検討状況
- ・本人が抱えている傷病
- ・介護保険サービス利用の有無、利用していない場合はその主な理由
- ・介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況
- ・訪問診療の利用の有無
- ・認知症、成年後見制度に関すること
- ・家族、親族からの介護の有無と頻度

○主な介護者について

- ・本人の介護を主な理由として過去1年の間に仕事をやめた人がいるか
- ・主な介護者の続柄、性別、年齢、行っている介護の内容
- ・介護者が不安に感じる介護の内容
- ・主な介護者の勤務形態、介護を理由とした勤務調整の有無
- ・仕事と介護の両立に効果があると思う勤務先からの支援

#### 4. 今年度実施する調査の概要

| 区 分               | 介護予防・日常生活圏域<br>二 一 ズ 調 査                         | 在 宅 介 護 実 態 調 査       |
|-------------------|--|-----------------------|
| 調査対象者             | 65歳以上の要介護認定を受けていない高齢者<br>介護予防・日常生活支援総合事業対象者、要支援者 | 要介護認定を受け、在宅で生活している高齢者 |
| 調査件数              | 約1,400件<br>(層化無作為抽出)                             | 600件                  |
| 調査項目数             | 90問程度  | 50問程度                 |
|                   | ※どちらの調査も、国の示した基準項目を中心に、町が設定した設問を含む。              |                       |
| 【参考】前回調査（令和4年度実施） |  |                       |
| 配布件数              | 1,424件   | 627件                  |
| 回収件数              | 1,150件   | 450件                  |
| 回収率               | 80.8%  | 71.8%                 |

#### 3. 配布・回収方法

郵送による配布・回収

#### 4. 今後のスケジュール（予定）

- 11月中旬 調査票発送
- 12月下旬 調査票提出締切
- 3月下旬 調査結果報告書の策定

令和8年度 第10期高齢者総合計画の策定  
 ・担当課が中心となり計画原案を作成  
 ・介護保険運営審議会は5回実施予定  
 （令和5年度は6月・8月・9月・11月・2月に実施）

#### 5. その他

上記調査とは別に、町内介護保険サービス提供事業所を対象に運営状況や人材確保の状況、介護ロボットの活用や外国人人材の雇用の有無等に関するヒアリング調査を実施予定。